

どなたでも歓迎！
(個人・団体OK)

水辺なら
どこでもOK

水辺のごみ見つけ！2017 = 全国水辺のごみ調査 = 参加のご案内

■調査概要

本調査では生き物や自然界への影響を及ぼすごみの散乱状況を全国規模で把握し、ごみの散乱防止対策、水辺の環境保全活動へ役立てることを目的とします。

調査は、身近な水辺で調査項目のごみを拾って、その個数を数えます。拾うことが出来ない場合は、その数を数えるだけでも構いません。調査した結果をEメール等で事務局までご報告ください。

■調査の場所

身近な水辺ならどこでも構いません。(河川、用水路、湖沼、海岸)、水際に散乱しているごみを調査します。

※外部との流出入のない沼・ため池・田んぼ、水面・水中なども対象となりますが無理しないでください。

※河川敷(高水敷)も調査の対象となります。

■調査・報告項目

1) ペットボトル

2) レジ袋

3) カップ型飲料容器

その他、調査基本情報(調査位置、調査範囲など)

■調査期間・回数

2017年4月1日～11月30日

ごみを回収する場合は、同じ場所で何度でも調査可能。回収しないで数えるだけの場合は、1会場での報告は1回のみ。

報告締切：11月30日(木)

後日、全国の調査結果を公表します！

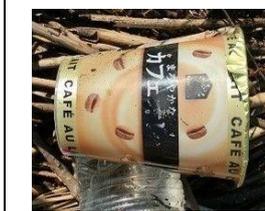
※詳しくは⇒ <http://kawagomi.jp/mikke/>



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



※レジ袋の中身はカウントしません。
分別して適切に処理願います



【主催・報告・問合せ先】

全国川ごみネットワーク

<http://kawagomi.jp/>

東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204 (NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム内)

TEL 03-3654-7240 FAX:03-3654-7256

Eメール:kawa53@kawagomi.jp

■実施方法（実施マニュアル）

1. 事前準備

- ・「水辺のごみ見つけ！シート」をホームページから入手（以下のサイトからダウンロード）してください。
<http://kawagomi.net/>
ホームページから入手できない場合は、下記連絡先にお問合せください。
- ・大勢で調査実施する場合は、複数枚ご用意ください。（各人1枚または数名で1枚記載できるように）
- ・大量のごみの回収が見込まれる場合は、その処理方法について事前に自治体にご相談ください。（多くの自治体の場合、ボランティアが回収したごみについては、自治体の協力をいただくことができます）

2. 当日

- ・水辺でごみを拾いながら数を数え、「水辺のごみ見つけ！記録シート」に記録していきます。
※汚れたゴミを最後に数えるのは大変なので、数えながらゴミ袋に入れていくことを推奨します。数名で1枚の記録シートを用意し、順次記録します。
- ・調査の範囲は任意ですが、調査した水辺の長さをご報告ください（奥行は報告不要）
- ・回収したごみは、自治体のルールに従い、各団体が適切に処理願います。
- ・回収しないでカウントする場合には、複数人で重複して数えないようご注意ください。

水辺のごみ見つけ！シート ~2016全国水辺のごみ調査~

調査した団体(または個人)名

調査年月日(yyy/mm/dd) ごみを回収しましたか? 回収/調査のみ
グループの人数 人 (いずれかに○印を)

<余白に「正」の字を書いてカウントしてください>

	個数
1 飲料ペットボトル 	
2 レジ袋 	
3 カップ型飲料容器 (店頭販売容器含む) 	

その他、特に多かったごみ、気になったごみ、どこから来たごみと思われるか等、気づいたことを記入ください

調査地点(範囲)について

河川・湖沼・海岸名 (例: ○川)

都道府県名

市町村名

地点(範囲)名 (例: ○橋周辺など)

調査範囲(水辺の長さ(m)) m

水辺の状況 1.自然護岸 / 2.コンクリート護岸 / 3.砂浜 / 4.その他

調査範囲の地図(記載自由)

制作: 全国川ごみネットワーク 2016年4月

3. 実施後 —報告—

- ・「水辺のごみ見つけ！記録シート」複数枚で調査した場合は、グループで集計してください。
- ・「水辺のごみ見つけ！報告シート」にグループでの集計結果を記載し、事務局まで、メールで報告ください。
できるだけ、エクセルシートのまま添付願います。
調査範囲略図を記載いただいた場合は、別途 PDF にして添付願います。
調査後、月末までに報告願います。（最終締切：11月30日） 報告先アドレス：kawa53@kawagomi.jp

■その他、注意事項

- ・水辺での調査ですので、無理をしないで、毒ヘビやスズメバチなど危険な生き物、足元などに注意しながら調査してください。
- ・水面・水中での活動以外の場合は、水の中には入らないようご注意ください。
- ・本調査として、事務局でボランティア保険等の傷害保険に加入していません。

水辺のごみは、放置され堆積すると、水辺の動植物の生育を阻害します。
水辺で拾われないで外洋に流れ出たごみは、ウミガメ、水鳥など海の生き物へ悪影響を及ぼします。
紫外線や水流などで破片化したプラスチックごみは、有害な汚染物質を吸着したり、生き物にも取り込まれています。やがては人への影響が生じるのではないかと懸念されています。